

令和4年度の学校評価

本年度の 重点目標	各種の40周年記念事業を推進し、地域の伝統校としての地位の確立を目指す。その足掛かりとして、教育活動の情報化に伴う制度の整備や設備の充実を図り、生徒が生き生きと活動、活躍できる学校づくりを心掛ける。学校行事では、全学年で取り組み仲間と協働して作り上げる在り方を一層充実させ、思いやりの心や自律の精神、自己有用感を育む。また、新教育課程に基づく指導と評価の一体化を進め、思考力、判断力、表現力や主体的に学ぶ態度の育成を図り、生徒の進路実現へとつなげていきたい。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
防災とPTA活動 (総務部)	①40周年記念行事に向けての準備推進	・40周年記念行事の企画および立案を行う。	・40周年記念行事に向けて計画を立て、同窓会、PTA、教職員の皆様との連携を密にし、準備を行う。
	②保護者と学校との連携強化	・PTA活動の活性化とその活用を図る。	・「ミマモルメ」、ホームページ、「興道だより」等を利用して積極的に情報発信を行い、PTA活動への理解と協力を求める。
	③防災教育の推進	・防災マニュアルの整備	・幅広い観点で防災に関する情報を収集し、より実効性の高いマニュアル作りを目指す。
学習指導 (教務部)	①主体的・対話的で深い学びをもたらす授業展開、学びに向かう力を養う学習指導方法の研究実践	・学習アンケートの実施 ・研究授業の参観 ・ICTの活用 ・校内研修の実施	・生徒の実情を的確に把握し、生徒が意欲的に学習に取り組めるような授業の実践を目指す。 ・新学習指導要領に沿って研究実践を重ね、観点別評価により、生徒の主体的に学ぶ態度を育成する。
		・生徒面談、学習記録等の活用	・家庭での学習実態を把握し、主体的な授業参加につながるような学習習慣を身に付けさせる。
生活指導 (生徒指導部)	①安全教育の充実	・校外交通安全指導の実施  ・交通安全教育の実施	・定期的に全職員による街頭指導を実施（登校時2回、下校時5回）する。 ・登校時に門（正門・北門）で毎朝、職員輪番にて交通指導を実施する。 ・外部講師による交通安全教室を開催し交通安全に対する意識を高める。
	②基本的生活習慣の確立	・遅刻指導の実施	・遅刻カードの活用と日常の声かけにより、時間を守る意識を高める。
	③いじめ防止対策の推進	・いじめの早期発見に関わる取組の実施	・学校生活アンケートを3回実施し、いじめの早期発見を図るとともに、その後の適切な対応につなげる。
進路指導 (進路指導部)	①生徒の適性、能力、志望に応じた進路指導	・適切な進路情報の提供と進路意識の啓発	・進路講演会や進路講話を実施し、生徒や保護者に対して適切な進路情報を提供する。 ・大学の講義を体験させることやオープンキャンパスに参加させることを通して、進路に対する意識を啓発する。
		・大学入試に向けての指導の充実	・入試制度の研究を進め、教科指導や進路指導にかす。 ・生徒の希望進路の実現のため、大学入試に向けての指導（補習・個別指導）を充実させる。
保健・環境美化 (保健部)	①心身の健康の保持増進	・委員会活動等により、心身の健康や感染症対策に関する啓発活動を推し進める。 ・特別支援教育に対する理解を深める。	・生徒保健、学校保健等の委員会活動を通して、健康維持や感染症に対する知識や関心を高め、日頃の健康管理に役立ててもらう。 ・特別な支援が必要な生徒を教員全体で周知し、対応の仕方を把握できるようにする。
	②校内環境の整備	・環境美化活動を推進する。 ・校内美化に対する意識を高める。	・美化委員による校内美化活動、草花の苗植え、教員による安全点検の徹底など、さまざまな活動の活性化を図る。 ・清掃点検活動や清掃方法の周知を通して、学校全体の美化意識を高める。
図書館活動 (図書部)	①読書の奨励と図書館の利用促進	・読書の機会を可能な限り設け、図書館を活用させる。 ・委員会活動を通じて情報の提供を推し進めて、生徒・職員にとって、より利用しやすい図書館を目指す。	・校内読書感想文コンクールなどの機会を通じて、読書に対する興味・関心を持たせる。 ・レイアウトの改良等、図書館利用の一層の充実を目指し、部分的に制度の改善を図る。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
研修活動 (図書部)	①校内研修の充実	・授業参観の機会を積極的に活用する。	・職員基本研修における研究授業の参観を促して、教員の指導力向上を目指すとともに、さまざまな意見を交換する機会を提供する。
生徒会活動 (特活部)	①興道祭の充実	・興道祭を通じて、創造力、自主性、協調性、自己有用感など社会に出て必要な人間力を養うことを目標に、各企画への支援をする。	・高校生らしいさわやかな発想と工夫、豊かな発想力を引き出せるような様々な支援をする。 ・計画段階で、各企画が活性化するように十分に論議できる機会を提供する。生徒各会議を充実させ、上級生と下級生の連携をとれる場もつくる。
	②部活動の充実	・多くの生徒がはつらつと日々の活動に参加できるよう支援し、公式戦・コンクール等の結果にも繋げる。	・短時間で効率よく、自発的な活動ができるように支援する。健康・安全面にも十分に留意させる。 ・学習と部活動の両立を図り、部活動に取り組む意義を理解させる。
情報活動 (特活部)	①開かれた学校教育と情報モラルの向上	・学校 Web ページで情報を提供する。 ・生徒の情報モラルを高める。	・地域に開かれた情報発信が出来るように、Web サイトの随時更新や見やすさを常に心がける。 ・タブレット端末の導入を機会として、個人情報の取り扱いや著作権・肖像権などの情報モラルに配慮させる。
第1学年 「高校生としての基本的な生活習慣と学習習慣の確立」	①真剣に学習する姿勢と部活動や学校行事に取り組む姿勢の育成	・家庭学習を大切に、予習、授業、復習の学習サイクル構築を呼びかける。 ・部活動、学校行事に積極的に参加するよう指導する。	・家庭学習の記録を毎日つけることで、自身の学習習慣を見つめ、改善できるよう指導する。 ・部活動、学校行事を通して、人間的な成長を促し、努力した経験を多く積めるよう指導する。 ・興道高校をよりよい学校に発展させていく意識を醸成する。
	②基本的生活習慣の確立	・挨拶の励行、時間や締め切り、ルールを守ることを指導する。 ・文武両道を目指すための生活習慣が確立するよう指導する。	・興道生になるために、自覚ある言動や行動ができるよう、生徒と日ごろからコミュニケーションを取り、指導する。 ・文武両道を実践できるような生活習慣を意識できるよう、指導する。
第2学年 「『個性』を活かし、主体的に行動できる生徒を育む」	①学習活動・部活動・学校行事と、さまざまなことに前向きに取り組む姿勢を育む。	・学習活動、部活動、学校行事等において、自らの個性を活かして前向きに取り組む姿勢を醸成できるよう支援する。	・学習活動、部活動、学校行事等にも前向きに取り組むことで得られる達成感、自己有用感をもとに、自ら考え、個性を活かすことで主体的に行動できるよう支援する。
	②自らの「個性」と向き合い、学習への取り組みと進路目標の設定を主体的に考える力を育む。	・さまざまな進路行事を通して興味関心を醸成し、主体的に進路目標を設定できるよう支援する。 ・進路目標から自らの個性に合わせた学習スタイルを確立できるよう支援する。	・進路講演会、オープンキャンパスへの参加、プレカレッジ等の進路行事を通して、生徒が自らの進路について興味関心を持ち、主体的に進路目標を設定できるよう支援する。 ・設定した進路目標達成のため、自らの個性に合わせた学習スタイルを考え、それを確立できるよう、面談等を通して適切な支援をおこなう。
第3学年 「校訓『活力』にもとづく生徒の育成」	①学習活動・部活動・学校行事に真剣に取り組む姿勢を育てる	・学習活動、部活動、学校行事等に真剣に取り組む姿勢を育成し、自ら考えて行動する人材を育成する。	・学習活動、部活動、学校行事に真剣に取り組むことで得られる達成感、自己有用感を、この先の人生で、自ら考え主体的に行動することができる「生きる力」として役立てられるよう支援する。
	②進路実現に向けた目標設定、具体的な学習計画立案と実行する姿勢を育成する	・目標設定と学習計画立案のため適切な助言をする。 ・進路実現に向け、真剣に学習に取り組む意志が継続できるよう学年団で連携して支援する。	・目標設定において、より可能性を広げられる目標設定を、学習計画立案においては無理なく継続できる計画を念頭におき、アドバイスする。 ・進路実現のために学習活動を行う中で、強い意志を持ち続けられるよう、面談を通してアドバイスをおこない、支援を継続する。また定期的に学年集会を開催し、全体指導も充実させる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律の精神と自己有用感を育むための教育活動ができたか。</li> <li>・思考力、判断力、表現力や主体的に学ぶ態度の育成ができたか。</li> <li>・いじめがなく、他者を尊重し協働的に学ぶ環境を整えることができたか。</li> <li>・地域、保護者、生徒のニーズに応える教育ができたか。</li> <li>・業務内容の精選等により時間の有効活用と健康維持を図ることができたか。</li> </ul>	